



令和4年10月11日(火)/17日(月)

第7回原始・古代・考古 GR 会議および中世・文献 GR 会議を開催しました



▲会議の様子(原始・古代・考古グループ)

第7回原始・古代・考古グループ会議および中世・文献グループ会議では、委員が作成した原稿をもとに内容や編目構成、執筆担当者について確認したほか、口絵に関する協議を行いました。口絵とは、本文の前に掲載される絵や写真のことで、自治体史では歴史的に重要な文書、遺跡や美術品などの写真を、フルカラーもんじょで大きく掲載することが多いです。両グループとも今回の会議で候補を絞り、撮り直しなどをした上で、来年3月に開催する会議において最終決定する予定です。

『新編遠野市史 資料編 考古/古代・中世』の発刊を来年度に控え、原稿執筆が佳境を迎えています。今後印刷業者の決定などを経て、来年度初めに入稿し、約1年をかけて編集・校正作業を行います。資料編は研究者向けのイメージが強いですが、市民の皆さまに手に取っていただきやすい市史を目指していきます。

令和5年度(令和6年3月)発刊予定

新編遠野市史 資料編 考古

新編遠野市史 資料編 古代・中世

附録：遠野市遺跡地図

※1ケースに2冊+遺跡地図を封入予定です



令和4年度遠野市史編さん講座を開催します!

今年度の市史編さん講座は、11月19日(土)遠野市立図書館視聴覚ホールで開催します。岩手大学教授で近現代部会部会長の今野日出晴先生を講師に迎え、明治から戦前・戦中まで遠野ではどのような教育が行われ、どんな特徴があるのか、現在の教育に照らしながら講演していただきます。

参加費は無料ですが、事前の申し込みが必要です。会場で聴講する場合は電話で、Zoomで聴講する場合はメールで市史編さん室へお申し込みください。お申し込みお待ちしております。

今年度は新たな取り組みとしてZoomを使用した配信を行います。遠方の方、体調に不安のある方は、ぜひZoomからご参加ください。



講師 今野 日出晴 氏

岩手大学教育学部教授
遠野市史編さん委員(近現代部会長)

2022年
11月19日 土

13:30-15:00
遠野市立図書館
視聴覚ホール

要事前申込 聴講無料

会場聴講 定員20名
前日までに市史編さん室へ電話でお申込みください。
※定員に達し次第受付を締め切ります。

Zoomで聴講 定員100名
11月11日までにメールでお申込みください。
聴講用URLを前日までに返信します。

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、当日体調の悪い方(37.5℃以上の発熱、味、嗅の痛みなどの症状がある方)は、会場での聴講をご遠慮いただきます。また状況により中止となる場合があります。

遠野市 市史編さん室

T:028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号(遠野市立図書館・博物館内)
TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758 E-mail:bunka@city.tono.iwate.jp



令和4年10月18日(火)
真立館などの調査を行いました



▲真立館頂上部の堀



▲真立館から東南に下がった洞にある人工的な平場



▲松崎観音の石碑



真立館は、松崎町にある館跡で、周辺には松崎観音堂や宮代経塚などがあります。今回は、12世紀この付近に開山したという白鳳山養安寺の痕跡を探すため、中世・文献グループで真立館周辺を調査しました。

真立館は小高い山の頂上部に楕円形の平場があり、その周囲に堀が巡っていたほか、竪穴住居址とみられる窪地を複数確認しました。齊藤利男グループ長によると、これらは青森県などに10世紀半ばから出現する防御性集落と考えられ、年代は11世紀頃と推定されました。防御性集落（環濠集落・高地性集落）の分布は、これまで盛岡市近辺が南限とされており、大きな発見となりました。

さらに真立館から東南に尾根を下ると、小さい洞（谷）の奥に、横9m×奥行5mほどの人工的な平場を発見しました。『まつざき歴史がたり』によると、養安寺があったとされる場所については諸説あり、そのひとつに「熊の洞という真立の東南方に位置した洞に養安寺があった」という説があります。今回平場を発見した洞が熊の洞であれば、原初の養安寺があった可能性があります。この場所は来春に再調査する予定です。

また、松崎観音堂の周辺を調査したところ、観音堂の裏山にも堀や郭などの遺構があり、これまで知られていなかった館跡であることがわかりました。

【参考文献】
『まつざき歴史がたり』松崎町地域づくり連絡協議会 2001
「北の古代末期防御性集落」の成立・発展・消滅と王朝国家 齊藤利男 2007

